

DSC-H5

本書と別冊の「サイバースhoot取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。「活用編・困ったときは」の3ページと117ページから119ページに、製品を安全にお使いいただくための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。ご使用前によくお読みください。



この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

付属品の確認をしてください

- 万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
- Ni-MHバッテリーチャージャー BC-CS2A/CS2B (1) / 電源コード(1)
- 単3形ニッケル水素電池(2) / バッテリーケース(1)
- USBケーブル(1)
- AV接続ケーブル(1)
- ショルダーストラップ(1)
- レンズフード(1)/アダプターリング(1)
- レンズキャップ(1)/レンズキャップひも(1)
- サイバースhootアプリケーションソフトウェア(1)
- サイバースhoot取扱説明書はじめにお読みください(本書)(1)
- サイバースhoot取扱説明書活用編・困ったときは(1)
- 保証書(1)

“メモリスティック デュオ”は付属していません。本機には30MBの内蔵メモリーを搭載しておりますが、より多くの撮影のためには“メモリスティック デュオ”の購入をおすすめいたします。“メモリスティック デュオ”：本機で使用可能です。

“メモリスティック”：本機で使用できません。その他のメモリーカードは使用できません。“メモリスティック デュオ”について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」108ページ

- ご注意**
- はじめてお使いになるときは、単3形ニッケル水素電池(付属)を充電してください。
 - 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に高精度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
 - 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつかけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてお使いください。→別冊「活用編・困ったときは」17ページ

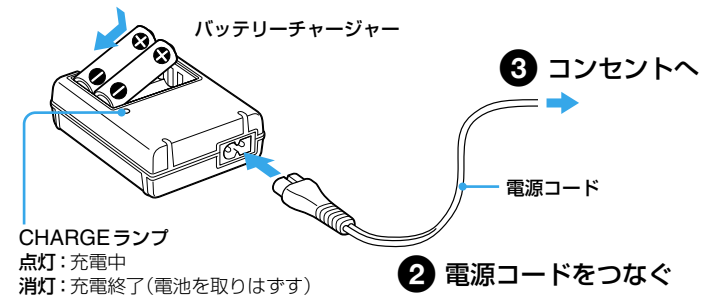
■ サイバースhoot オフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバースhootの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

■ 使用上での不明な点や技術的な質問
テクニカルインフォメーションセンター
●ナビダイヤル……………0570-00-0066
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
●携帯電話・PHSでのご利用は…0466-38-0253
(ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください)
受付時間：月～金曜日：午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日：午前9時～午後5時

1 電池を準備する

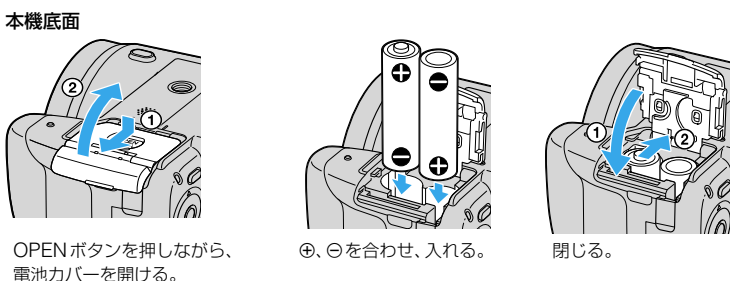
① 電池を入れる。

⊕、⊖を合わせ、入れる。



- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントにつないでください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源から遮断されていません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 使い終わったら、電源コードをコンセントから取りはずしてください。ニッケル水素電池をバッテリーチャージャーから取り出してください。
- ニッケル水素電池(付属)を使い切った状態から十分に充電するまで、温度25℃で約6時間かかります。使用状況や環境によっては、長かかります。
- CHARGEランプが6時間以上点灯することがありますが故障ではありません。

④ 充電した電池を入れる。



付属の電池以外を使うには

単3形ニッケル水素電池/単3形アルカリ電池/単3形ニッケルマンガン電池がお使いになれます。→別冊「活用編・困ったときは」110ページ

コンセントの電源で本機を使うときは

ACアダプター AC-LS5K(別売)を使うと、コンセントにつないで使うことができます。→別冊「活用編・困ったときは」16ページ。

電池の残量を確認するときは

POWERボタンを押して電源を入れ、画面で確認する。

残量表示				
電池残量の目安	充分ある	少なくなった	撮影、再生がもうすぐできなくなる	充電済みのニッケル水素電池と交換するか、充電する(警告表示が点滅)

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池使用時は、電池残量表示が正しく表示されません。
- ACアダプター(別売)使用時は電池残量表示は表示されません。

電池を取り出すときは

本機の底面を上に向け、電池カバーを開ける。電池が落下しないようにご注意ください。

海外で使うときは

バッテリーチャージャー(付属)やACアダプター AC-LS5K(別売)は全世界(AC100V～240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。

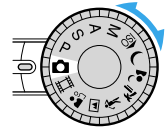
コンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
変換プラグアダプター	不要	

BC-CS2A/CS2B

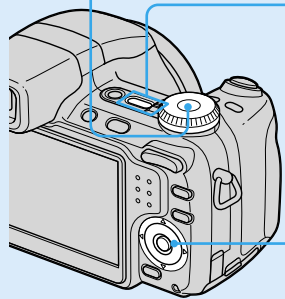
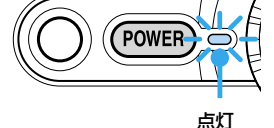
- 変換プラグアダプター [a]/電源コンセント [b]の形状は国や地域によって異なります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。

2 電源を入れ、時計を合わせる

① モードダイヤルを「CAM」にする。

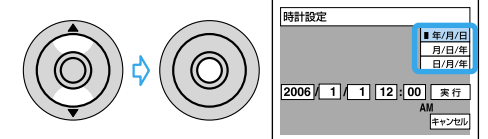


② POWERボタンを押す。

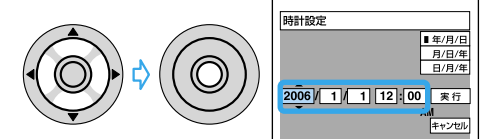


③ コントロールボタンで、時計を合わせる。

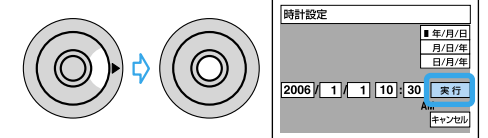
1 ▲/▼で日付表示順を選び、●で決定する。



2 ◀/▶で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して●で決定する。

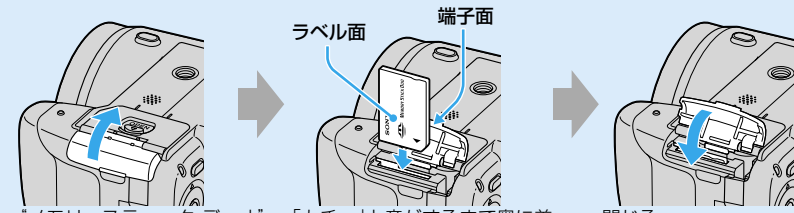


3 ▶で[実行]を選び、●で決定する。



• 時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

3 “メモリスティック デュオ”(別売)を入れる



“メモリスティック デュオ”が挿入されていないときは本機の内蔵メモリー(30MB)に画像を記録/再生します。→別冊「活用編・困ったときは」26ページ

4 用途に合わせて画像サイズを決める

① モードを選ぶ。

静止画のとき

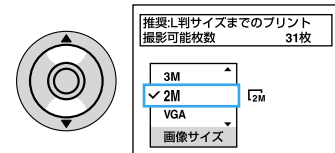


動画のとき



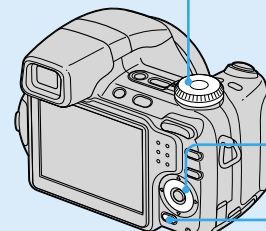
② 画像サイズを選ぶ。

▲/▼で画像サイズを選ぶ。



- 静止画のときの画面です。
- 動画のときは[640(ファイン)](“メモリスティック PRO デュオ”のみ)、[640(スタンダード)]、[160]から選びます。

④ 画像サイズボタンを押して、設定を終了する。



時計合わせをやり直すときは

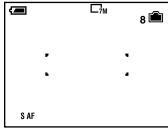
☰(セットアップ)画面で[時計設定]を選び、手順③を行う。→別冊「活用編・困ったときは」53、66ページ

時刻表示について

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。
- 手順①-1で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。

電源を入れたときのご注意

- 時計合わせをしないと、電源を入れるたびに時計設定画面が表示されます。
- レンズ部が動くので、レンズ部に触れないでください。また、電源を切った状態でレンズが出たまま長時間放置しないでください。故障の原因になります。
- 2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。



電源を切るときは

POWERボタンを再び押す。

- 電池使用時に、電源を入れたまま約3分間操作をしないと、電池の消耗を防ぐために自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

表示言語について

本機のメニュー項目や警告などの表示は、日本語のみに対応しております。

静止画の画像サイズについて

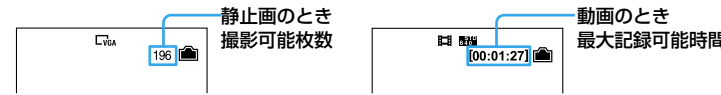
「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」13ページ
お買い上げ時の設定は☒で示しています。

画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
✓ 7M	A3サイズまでのプリント	少ない	精細
3:2 ¹⁾	縦横比3:2での撮影		
5M	A4サイズまでのプリント	↑	↑
3M	2L判サイズまでのプリント	↓	↓
2M	L判サイズまでのプリント	↑	↑
VGA	Eメールでの送付など	多い	粗い
16:9 ²⁾	ハイビジョンTVでの鑑賞 ³⁾		

- 1) 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の縦横比で撮影します。
- 2) プリント時に両端が切れることがあります。→別冊「活用編・困ったときは」102ページ
- 3) メモリスティックスロットやUSB経由で接続すると、より高画質でお楽しみいただけます。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」25ページ



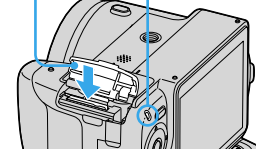
- 撮影可能枚数や記録可能時間は、撮影状況によって異なります。

“メモリスティック デュオ”を取り出すときは

“メモリスティック デュオ”カバーを開け、“メモリスティック デュオ”を1回押す。

アクセスランプ点灯中は

絶対に電池カバーを開けたり、“メモリスティック デュオ”を取り出したり、電源を切らないでください。データが壊れることがあります。



5 簡単に撮る(オート撮影)

持ちかた



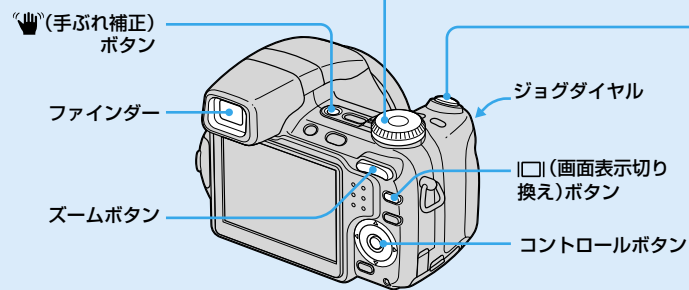
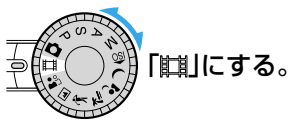
被写体をフレーム中央部におさめる。

1 モードを選ぶ。

静止画(オート撮影)のとき



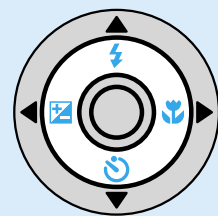
動画のとき



コントロールボタンの機能を使うには

静止画のフラッシュモードを選ぶ

写真の明るさ(EV)を変える(露出補正)

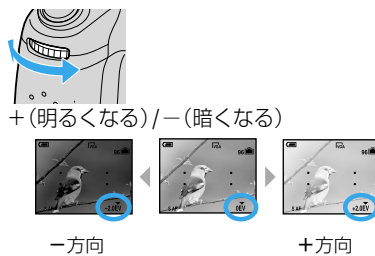


被写体に近接して撮る(マクロ撮影)

セルフタイマーで撮る

写真の明るさを変える(露出補正)

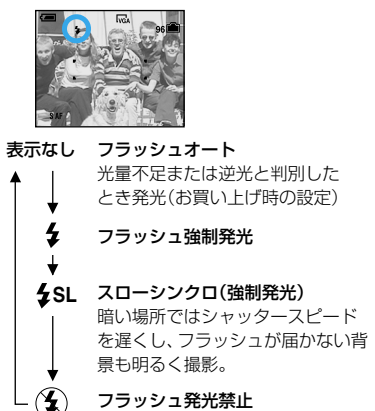
手順②の前に、コントロールボタンの(露出補正)を押す。ジョグダイヤルを回して調節する。



- 1/3EV単位で、明るさ(露出値)を設定できます。(+ 2.0EV ~ - 2.0EV)
- 0EVが本機が最適と判断した値です。
- モードダイヤルを切り換える、または電源を切ると0EVに戻ります(モードダイヤルが(露出補正)のときのみ)。
- 露出について、詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」11ページ
- ジョグダイヤルについて詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」29ページ

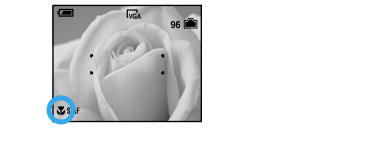
静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順②の前に、コントロールボタンの(露出補正)を押す。押すごとに、設定が変わる。



- フラッシュ発光部が自動的に持ち上がり発光します。フラッシュ使用後は手で閉じてください。

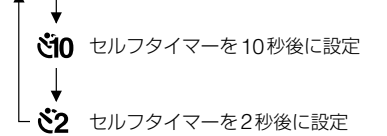
- フラッシュ撮影範囲([ISO]が[オート]のとき) W側:約0.3~9.0m T側:約0.9~6.8m
- フラッシュは2回発光し、1回目が発光量を調整します。
- 被写体に近接して撮る(マクロ撮影) 手順②の前に、コントロールボタンの(マクロ)を押す。やめるには、もう一度(マクロ)を押す。



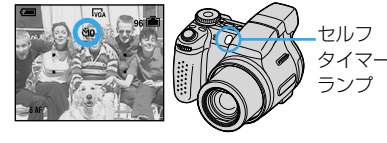
- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが速くなります。

セルフタイマーで撮る

手順②の前に、コントロールボタンの(セルフタイマー)を押すごとに、設定が変わる。表示なし セルフタイマー解除



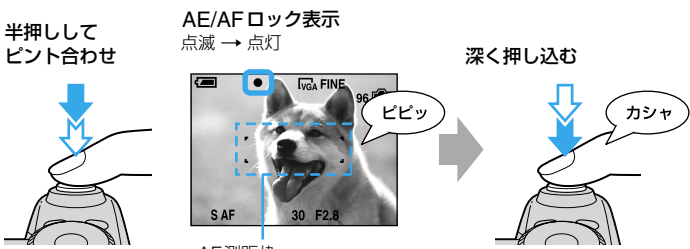
シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始されます。やめるには、(セルフタイマー)を押して、表示を消す。



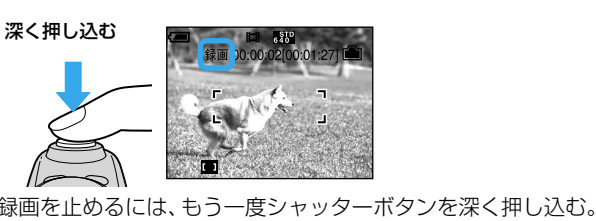
- セルフタイマーを2秒後に設定して撮影すると、手ぶれが起こりにくくなります。

2 シャッターボタンで撮影する。

静止画のとき



動画のとき



ズームするには



軽く押すとゆっくりズームし、さらに深く押すと早くズームする。

- レンズの倍率(12倍)を超えるとデジタルズームになります。[デジタルズーム]の種類と画質について→別冊「活用編・困ったときは」55ページ
- 動画撮影中は深く押しでもゆっくりズームします。

静止画のピントがうまく合わないときは

- ピントが合う最短距離はW側で50cm、T側で90cmです。それよりも近くで撮影するときは、「マクロ撮影」(左記)する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピッピッ」と音がしません(コンティニューアスAF時を除く、→別冊「活用編・困ったときは」54ページ)。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体:

- 被写体が速くて暗い
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- 点滅する被写体
- ガラス越しの被写体
- 逆光になっている被写体
- 高速で移動する被写体

手ぶれ補正について

本機には手ぶれ補正機能が付いています。解除するときは、モードダイヤルを(手ぶれ補正)以外にして、(手ぶれ補正)ボタン(上図)を押し、(手ぶれ補正)を画面に表示させる。オンにするには、もう一度(手ぶれ補正)ボタンを押す。

- モードダイヤルが(手ぶれ補正)のときは解除できません。
- 手ぶれ補正モードを変えることもできます。→別冊「活用編・困ったときは」59ページ

画面を明るくするには

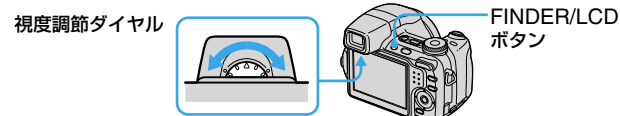
電池使用時に屋外などの明るい場所で画面が見えにくいときは、画面のバックライトを明るくすると、便利です。ただし、電池の消耗は早くなります。 (画面表示切り換え) ボタン(上図)を長押しすると、バックライトが明るくなります。もう一度長押しすると、もとに戻ります。

画面の表示については

→別冊「活用編・困ったときは」19ページ

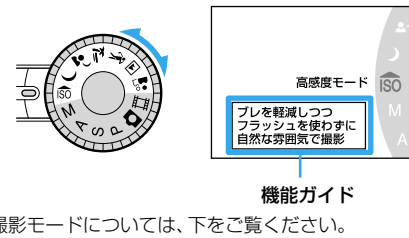
ファインダーで撮るには

FINDER/LCD ボタンを使ってファインダーで撮影するか液晶画面で撮影するかを切り換えることができます。ファインダーに設定すると、液晶画面に画像は映りません。ファインダー内の画像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度調節ダイヤルを調節してください。

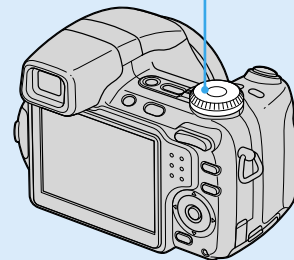


6 画像を見る/削除する

1 シーンセレクションの(高感度モード/夜景&人物モード/ビーチモード)のいずれかを選ぶ。



2 撮影する。



機能ガイドについて

機能の説明が表示されます。数秒後に消えますが、早めに消したいときはシャッターボタンを半押しします。また、(設定アップ)画面で、ガイドが出ないようにすることもできます。→別冊「活用編・困ったときは」56ページ

シーンセレクションを解除するには

モードダイヤルをシーンセレクション以外のモードに合わせる。

シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。



* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

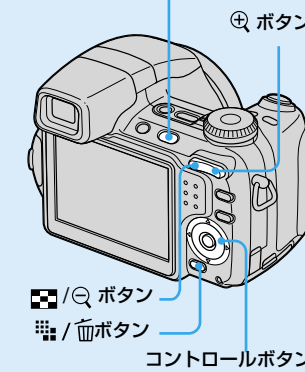
コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

手順②で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。使えない機能のボタンを押すと、ピッピッ音が鳴ります→別冊「活用編・困ったときは」31ページ。

6 画像を見る/削除する

1 (再生)ボタンを押す。

- 電源が入っていない状態でも(再生)ボタンを押すと、電源が入り再生モードになります。

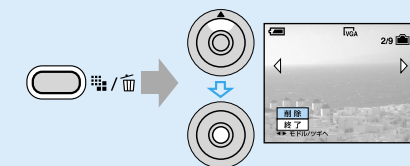


撮影モードに戻るには

- もう一度(再生)ボタンを押す。
- シャッターボタンを半押しする。
- モードダイヤルを切り換える。

画像を削除するには

- 削除したい画像を表示して(削除)ボタンを押す。
- ▲で[削除]を選び、●を押す。



削除を中止するには [終了]を選び、●を押す。

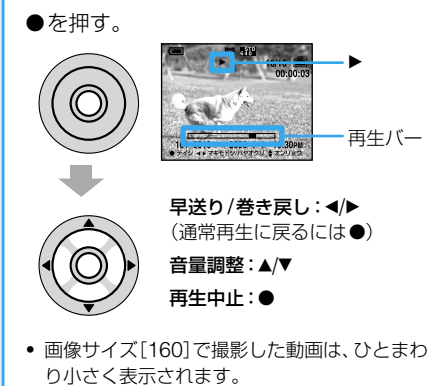
2 (前)/>(次)で画像を選ぶ。



静止画の場合:画像サイズを表示
動画の場合:再生バーを表示

- ジョグダイヤルを回すと、画像を先送りしたり、前に戻したりできます。

動画を再生するには



- 画像サイズ[160]で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

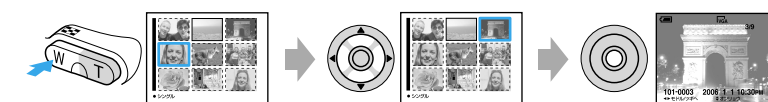
拡大して見るときは(再生ズーム)

静止画を再生中にQ ボタンを押すと、ズームできる。Q ボタンで戻る。ズーム位置変更:▲▼/◀▶
ズーム中止:●

- 拡大した画像を保存するには: [トリミング]→別冊「活用編・困ったときは」52ページ

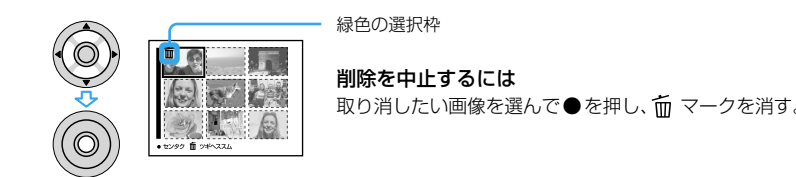
一覧(インデックス)表示で見るときは

(インデックス) ボタンを押し、▲▼/◀▶で画像を選ぶ。●を押すと、シングル画面に戻る。◀▶を押し続けると、次の画面に移る。



一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

- 一覧表示中に(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲▼で[選択]を選び●を押す。
- 削除したい画像を▲▼/◀▶で選び、●を押して(削除)マークを付ける。



- (削除)ボタンを押す。
- ▶で[実行]を選び●を押す。

- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲▼で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。